

第1号様式

令和6年度 第1回 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 担当者会議 記録										
日時	令和6年6月4日(火) 14:00 ~ 16:30									
開催場所	かるがも2階会議室									
出席者	<p>&lt;事務局&gt;石田(夢21)、市川・内田・明田川・芳垣(保土ヶ谷区役所高齢・障害支援課)、平良(保土ヶ谷区生活支援センター)、島田・早坂(ほどがや希望の家)、相原(恵和相談室)、大竹(保土ヶ谷区社協)、芝・朝倉・田村・遠藤(保土ヶ谷区基幹相談支援センター)</p> <p>&lt;各部会長(担当者)&gt;</p> <p>武藤(かるがもの会:自主製品販売)、竹内(当事者部会)、小池(港北病院:精神net)、早川(保土ヶ谷区基幹:まちで暮らす)、金山(こども家庭支援課:こども余暇)</p>									
欠席者	原(ピース和田町:こども)、野田(いわまワークス)									
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u> 記録:									
議題	<p>司会進行: 基幹 遠藤 議事録: 夢21 石田</p>									
	<p>はじめに、担当者会議の位置づけについて(基幹遠藤より)/14:00-14:05</p> <p>前年12月の担当者会議をもとにR5年度地域生活支援拠点整備計画を作成。この計画は、各部会の活動と全体の動きをまとめ、区域で取り組む課題として計画にも含めた。これから各部会で実施可能なことがあると思われる。全体会においても共有する。</p>									
	<p>1. 第1回全体会(5月16日実施)の報告 /14:05-14:20</p> <p>・報告/生活支援センター平良所長</p> <p>75名参加。全体会では、地域生活支援拠点の整備計画、部会の年間報告・計画、令和5年度予算、ホームページのリニューアル、区の福祉資源マップ、被災地支援センター設立、次期ほっとなまちづくり策定スケジュールなどについて報告・共有できた。</p> <p>・各部会長(担当者)より参加しての感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども部会。部会内では、大人の障害者の(部会の)活動の聞く機会が日頃少ない。全体会では貴重な情報だった。(金山)</li> <li>・内容は充実したものだったが、情報が盛りだくさん過ぎるという印象を持った参加者もいるかもしれない。(島田)</li> <li>・ホームページはよくなった。(武藤)</li> <li>・報告が多く充実していた。参加者が多くよかった。(相原)</li> <li>・途中参加した。会議の規模が大きいと感じた。情報量が多かった。</li> </ul>									
<p>2. 各部会より報告(拠点整備計画の進捗等) /14:20-15:00</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>拠点整備計画</th> <th>トピックス</th> <th>運営課題や困りごと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務局</td> <td>整備計画にある項目を各部会で実施できないか呼びかけていく。</td> <td>担当者会議の企画と、全体会の振り返りを定例会で実施。</td> <td>区内一斉アクションを計画。障害者権利条約批准日1/20を提案。</td> </tr> </tbody> </table>				拠点整備計画	トピックス	運営課題や困りごと	事務局	整備計画にある項目を各部会で実施できないか呼びかけていく。	担当者会議の企画と、全体会の振り返りを定例会で実施。	区内一斉アクションを計画。障害者権利条約批准日1/20を提案。
	拠点整備計画	トピックス	運営課題や困りごと							
事務局	整備計画にある項目を各部会で実施できないか呼びかけていく。	担当者会議の企画と、全体会の振り返りを定例会で実施。	区内一斉アクションを計画。障害者権利条約批准日1/20を提案。							

精神 net	事例から課題抽出を行う。	計画上、普及啓発、イベントを行う。	具体的に協力いただける部会員が増えるかどうか。
ほっとらんど		西谷地区センターに1ヶ月くらいPRスペースで使えないか検討。コロナ前は、各作業所の自主製品のPRをしていたから。	参加4団体で少なく、開店できない日も多い。売り上げも多くない。
こども	あまり部会で整備計画を取り上げていない	6/14 研修「性教育」さくらみらい医院の田口医師秋「児童虐待」をテーマに研修（講師候補：児相）年明け「上菅田養護学校」見学。事例は次年。	
こども余暇		年2回。7/28 運動会を予定。	地域の体制づくりはケアプラザの関りが大きい。
自主製品	専門的人材項目、店頭で宣伝活動できないか検討。	5/22-24 星川駅販売、県商工とのつながりできた。5/30 高校訪問し自主製品の体験会を実施した。	
相談支援	5つの計画相談事業所が拠点登録している。	7/26 意思決定支援勉強会。事例検討はを年3回予定。KITTYメソッドを用いる（区モデル）	区内で拠点登録している4事業所の協働体制で機能強化型加算の取得を検討。また今年度も引き続き事例検討にて地域体制強化共同支援加算取得を実行していく。計画相談は少人数が多く新規受入を断ることが多いので、改善を模索。
防災		9月、センター開設後訓練を予定。	
まちで暮らす（拠点）		高齢・こどもなど分野またがる事例を予定。今年のGH交流会では世話人を対象とする。	部会で取り上げる範囲は幅広い。前年度事例で取りまとめた課題をどこで、またはどの部会で取り上げるか決まっていない。
当事者		昨年「どんぐりの家」上映会開催。聴覚障害の内容、よい反応があった。今年は当事者の親家族の会「スマイル」からの意向で「発達障害」テーマに活動予定。先生・支援者に発達障害の特性を伝えたい。座談会も検討。	

その他

- ・令和9年度、保土ヶ谷区は区制100周年を迎える。令和6年度から、各団体でそれを見越した活動に補助金が出る見込。団体登録は当年度間もなく始まる。各自、登録検討してください。（石田）

3. ほっとなまちづくりのヒアリング / 15:00-16:15

※各グループファシリテーター：区社協、区役所の職員×3グループ

グループワークのテーマ：「ほっとなまちづくり」

- ・説明（5分）

ほっとなまちづくりは3つの大きなテーマ「見守り・支え合い」「いきいき健康」「担

い手づくり・情報」がある。今回のヒアリングは、利用者と事業所の側面から、意見を求めたい。これまでの、ほっとなまちづくり成立過程を島田さんから補足してもらいたい。(大竹)

第1期～2期は分野別インタビューがあった。第3期～4期はそれがなく、地区別の内容が多くなった。今回策定において、インタビューの復活はうれしい。ただ、印象的には、第1期から当事者の声は変わっていない。ほっとなまちづくり地区別の話では障害福祉は抜けがちなので、今回のインタビューと計画は重要に思う。

・ワーク (60分)

例：地域に望む事、困っている事、現在の取り組み (継続したいこと)

当事者目線で支援者が代弁しよう！！

・共有 (10分)

4. その他 (情報共有等) / 16:15 - 16:30

・自立協ホームページの件 (基幹・田村より)

ホームページで各部会のコラムを定期的に掲載していく。各部会でコラム執筆の分担をお願いしたいので、ご協力お願いいたします。

次回担当者会議：11月5日 (火) 14:00～16:00

場所：保土ヶ谷区役所地下会議室